

### 教員免許更新講習シラバス(選択必修)

講習の名称	新学習指導要領の特性と実践化の課題と可能性		
担当講師(所属・職名等)	馬居 政幸 (静岡大学名誉教授、静岡県立大学 非常勤講師)		
日程	2019年7月28日(日)	定員	75人
会場	静岡大学静岡キャンパス(静岡市)	時間	6時間
主な受講対象者	学校種	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	
	免許種、教科等	特定しない	
	職務経験等	特定しない	
講習で取り扱う事項	学校を巡る近年の状況の変化、学習指導要領の改訂の動向等		
講習概要	<p>新学習指導要領の特性を「社会に開かれた教育課程」「カリキュラム・マネジメント」「主体的・対話的・深い学び」「見方・考え方」「資質・能力」等のキーワードの社会的背景と教育・学習論的要請と共に考察します。またその実践化のために、各学校の年間指導計画、学年と教科等を結ぶ横断的・総合的学習を組み込む単元構成・授業(活動)づくりの課題と児童・生徒の学びの新たな可能性について、個人作業と小集団活動を交えて探求します。</p>		
講習内容	<p><b>講習1(75分):馬居講義</b></p> <p>1. 新学習指導要領が求める“保幼小”を含む学校教育(公教育制度)改変のシナリオ</p> <p>1) 公教育としての学校教育の位置づけを問い直すために</p> <p>① 社会に開く対象が「学校」から「教育課程」に変化した理由は？</p> <p>→ 学校(幼保小・小中・高)が設置された自治体の変化に掉さずネットワークの構築を</p> <p>② 「学校経営」ではなく「カリキュラム・マネジメント」が問われる理由は？</p> <p>→ 各学校の子どもたちと保護者や学区を生きる人たちに向き合うシステムの構築を</p> <p>2) 授業づくりと評価の個人化への挑戦を</p> <p>① 「アクティブラーニング」が「主体的で、対話的で、深い学び」に変わった理由は？</p> <p>→ 高等教育改革の概念から学校教育の良質な授業実践の型と核と粋を描く言葉に</p> <p>② 教科等の「学力」から「資質能力」+「～の見方・考え方」に変わった理由は？</p> <p>→ 既存の知識・技能の理解・記憶・操作の速度差による社会的配分装置から 社会の多様・多元・可変状況への個々人の適合力育成装置に</p> <p><b>講習2(75分):馬居と受講者の論議</b></p> <p>2. 新学習指導要領による教育課程と授業実践の改変を求める社会的背景の布置状況</p> <p>1) 人口減少時代の現実と可能性を掘り起こす醒めた知の覚醒を</p> <p>① 日本社会に進行する人口減少の特性と実相にアプローチするセンスの錬磨を</p> <p>→ 人口減少のメカニズムと偏頗性(地域間・世代間・世代内の差異と格差)を知るための四種の“みる(見、観、診、看)”を育成する“資質・能力”の鍛えを</p> <p>② 人口減少は推計値、少子化と高齢化は実数値、労働人口は不確定、三種の数値の違いの理解をスタートに</p> <p>→ “ことば・文字”と“かず・数字”への関心(主体的)と意味の共有性(対話的)から 独自性(深い理解)への深化・進化の学習方法の手掛かりを</p>		

	<p>2) 学校教育の量的縮小の危機を質的拡大への希望に転換するために</p> <p>① 児童生徒数と学校・一学級平均数の変遷から見える課題とは？ → 30 人を超す学級と 20 人以下の学級の授業づくりの類似と異質の境目は？</p> <p>② 新指導要領で学ぶ子どもたちの生きる社会の 6 次産業化が求める資質・能力とは？ → 選択と評価が繰り返される多様・多元・可変状況を無限の自己実現の契機に！</p> <p><b>講習3(75分):グループ別活動、発表、論議</b></p> <p>3. 学校種の特性に拘りながら、新指導要領の課題と可能性を問うグループワーク</p> <p>1) 二つの長机を合わせて向かい合う 4~6 人を単位に学校種に拘りつなぐ論議を！</p> <p>2) 二つの長机の上の模造紙をキャンバスに、論議の結果のプレゼン資料の作成を！</p> <p><b>講習4(75分):グループ別活動、発表、論議</b></p> <p>4. 新指導要領の課題と可能性のグループ別プレゼンテーションと相互評価活動</p> <p>1) 70 分÷グループ数を持ち時間に、「知識・理解」と「思考力・判断力・表現力」の評価の条件を組み込むための実験(試行錯誤)を！</p> <p>2) プレゼンの自己と他者の評価の積み重ねから、「学びに向かう力・人間性」の評価の課題と可能性の模索を</p> <p><b>試験(30分):ペーパーテスト</b></p> <p><b>講習5(30分):問い続けてほしい課題</b></p>
授業方法	講義形式、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション
テキスト及びレジュメ	<p>☆ 講義とのかかわりで、下記のテキストを参考にしてください(購入義務はありません)</p> <p>① 『人口減少時代の家族・学校・地域・社会～生涯にわたる学びと教えの新たな可能性を求めて～』馬居政幸・角替弘規共編著 NSK 出版 A5 版 400 頁(定価 3000 円) ◇ 購入希望の方は NSK 出版にある本書の次の購入サイトにより申し込みください。 <a href="http://www.nsk-japan.com/book/depopulation.htm">http://www.nsk-japan.com/book/depopulation.htm</a> ※ 更新講習受講者は著者割引により、郵送料込で 2400 円+税になります。</p> <p>② 『学習指導要領改訂のキーワード』解説:無藤隆 制作:馬居政幸・角替弘規 明治図書 A5 版 150 頁(定価 1900 円)</p> <p>③ 勤務学校種の学習指導要領と解説(総則編 or 幼稚園教育要領解説)と他の教科等の解説から二種以上を講習時に持参ください。</p> <p>☆ 7 月中旬に、私が担当する講習のための最新情報と資料を紹介・提供するコーナーを馬居教育調査研究所:UER-Labo:<a href="http://www.uer-labo.jp">http://www.uer-labo.jp</a>に開設します。訪問いただき、情報の収集と資料のダウンロードをお願いします。</p>
受講者に対する連絡事項	<p>○ 資料は事前にダウンロードして目を通してください。</p> <p>○ できれば参考テキストを読んでください。</p>
試験方法	筆記試験とグループワークによるプレゼン資料作成力とプレゼン力
成績評価の方法・基準等	筆記試験に資料作成力とプレゼン力を加算して 60 点以上を合格にします。

